

日阪通信

第93期 中間

2021.4.1—2021.9.30



全溶接型プレート式熱交換器

BUSINESS REPORT

株主の皆さまへ

この度、第93期事業年度の上半期が終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンの普及に伴い、当上半期における世界経済は緩やかな回復の動きが見られました。国内経済においても、個人消費が低迷しているものの、製造業の生産活動は回復基調となりました。一方、資源価格の高騰や部材需給の逼迫、新型コロナウイルス感染の再拡大懸念など、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループの受注高は、熱交換器事業で半導体向けなどが好調に推移したほか、プロセスエンジニアリング事業で医薬機器、染色仕上機器の大口案件を受注するなど、17,307百万円（前年同期比21.4%増）となりました。売上高はバルブ事業で大口案件の受注残が寄与したことなどにより、13,961百万円（同0.5%増）となりました。

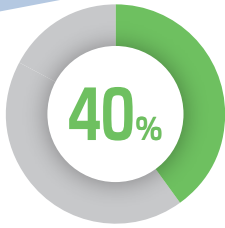
利益面では、プロセスエンジニアリング事業とバルブ事業の採算が悪化したことなどから、営業利益は701百万円（同19.1%減）、経常利益は937百万円（同10.8%減）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益などを計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は689百万円（同0.5%増）となりました。

株主の皆さまには、何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2021年12月 代表取締役社長

竹下好和



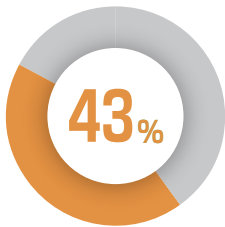
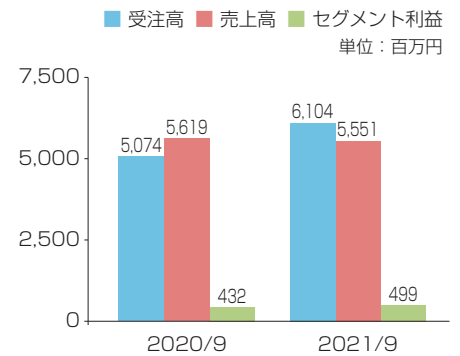
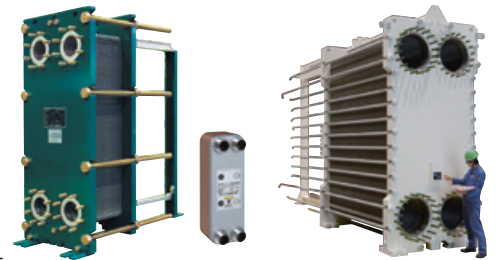
熱交換器事業

熱交換器事業は様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行うプレート式熱交換器などを製造・販売する事業です。

受注高は、半導体や産業機械向け、船舶の新造案件が好調に推移したことに加え、プラント向けのメンテナンス関連を受注したことなどにより、前年同期に比べ20.3%増加し6,104百万円となりました。

売上高は、半導体向けなどの中小型汎用品が好調に推移しましたが、前年度の受注低迷の影響により船舶向けが低調となったことなどから、前年同期に比べ1.2%減少し5,551百万円となりました。

セグメント利益は、セールスマックスの改善により、前年同期に比べ15.5%増加し499百万円となりました。



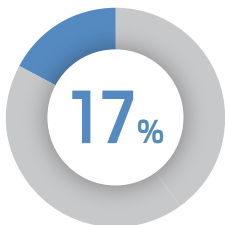
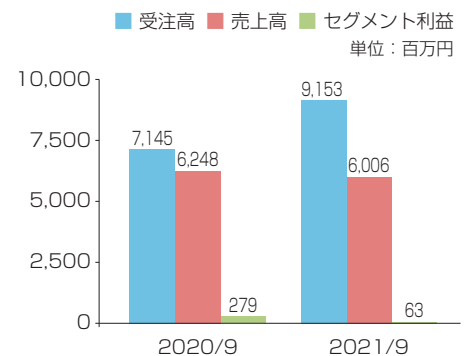
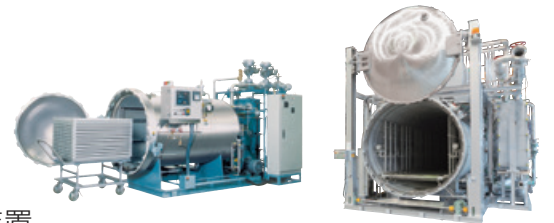
プロセスエンジニアリング事業

プロセスエンジニアリング事業は、レトルト食品などの調理殺菌装置、医薬品の滅菌装置や培養装置及び繊維製品の染色仕上機器などを製造・販売する事業です。

受注高は、医薬機器及び染色仕上機器で大口径案件を受注したことにより、前年同期に比べ28.1%増加し9,153百万円となりました。

売上高は、食品機器でプラント案件や大口径案件などがありましたが、医薬機器の一部でプラント工期の遅れによる納期変更があったことや、前年度の受注低迷の影響により染色仕上機器が低調となったことなどから、前年同期に比べ3.9%減少し6,006百万円となりました。

セグメント利益は、案件の長期化やコスト増があったことなどにより、前年同期に比べ77.4%減少し63百万円となりました。



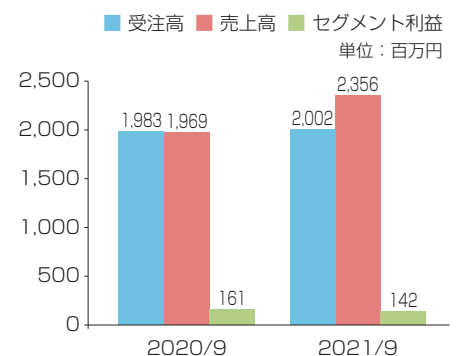
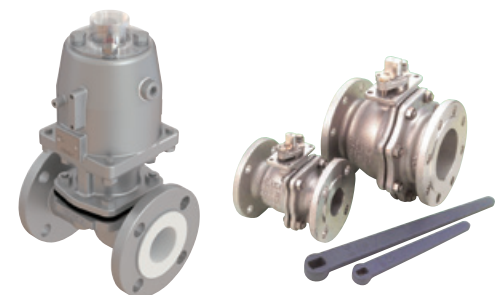
バルブ事業

バルブ事業は、様々な流体の制御に使われるボールバルブなどを製造・販売する事業です。

受注高は、鉄鋼向けで大口径案件を受注したほか、二次電池向けが好調に推移したことなどにより、前年同期に比べ0.9%増加し2,002百万円となりました。

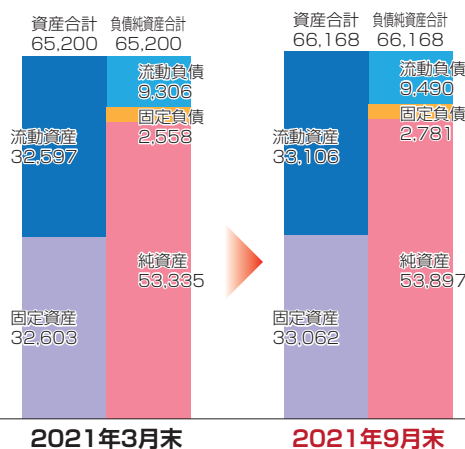
売上高は、化学向けの大口案件があったことなどにより、前年同期に比べ19.6%増加し2,356百万円となりました。

セグメント利益は、高採算案件が減少したことなどにより、前年同期に比べ12.0%減少し142百万円となりました。



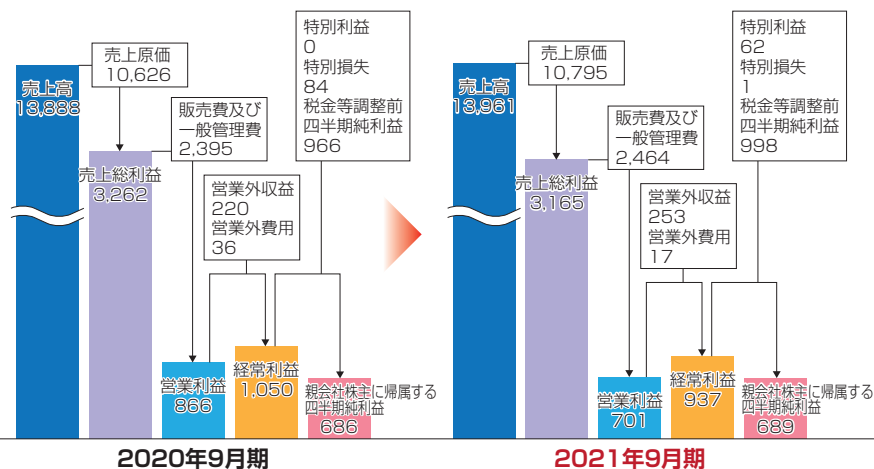
連結貸借対照表の概要

単位：百万円



連結損益計算書の概要

単位：百万円



トピックス

TOPICS



新たな熱交換器のラインアップで市場を開拓

フランスの熱交換器メーカーと資本提携を実施

2021年6月、全溶接型プレート式熱交換器を製造・販売するフランスの「KAPP SAS」（以下、KAPP社）の一部株式（15%）を取得する資本提携を実施しました。

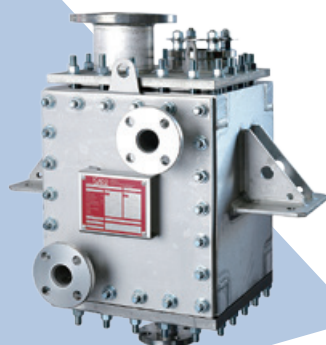
KAPP社とは2017年に同社の全溶接熱交換器の販売代理契約を締結し、協業を進めてまいりましたが、この度の資本提携を契機に、製品の安定供給とアジア市場への販売拡大を目指し、ライセンス契約を含めた更なる関係強化を図ります。

全溶接型プレート式熱交換器による市場開拓

全溶接型プレート式熱交換器とは、プレート式熱交換器の主要部品であるプレートが溶接されている熱交換器で、当社が主に取り扱っているガスケット型プレート式熱交換器に比べて耐圧性・耐熱性・耐薬品性に優れています。

熱交換器市場では、耐圧性・耐熱性・耐薬品性が必要な熱交換においてはシェル&チューブ式熱交換器と呼ばれる熱交換器が多く採用されておりますが、シェル&チューブ式熱交換器はプレート式熱交換器に比べて熱交換の効率が悪く、サイズも大きくなるという課題がありました。一方、全溶接型プレート式熱交換器は熱交換の効率も良く、軽量・コンパクトという特長があり、従来使用されていたシェル&チューブ式熱交換器からの置き換え需要が見込まれます。

当社はKAPP社の全溶接型プレート式熱交換器をラインアップに加えることで、このような需要に応え、お客様のニーズに沿った提案を行ってまいります。



全溶接型プレート式熱交換器



当社所属のアスリートが東京パラリンピックで入賞

障がい者スポーツの支援

当社は2015年10月より、障がい者スポーツの支援を通じた共生社会の実現に寄与するため、アスリートとして活動する障がい者の方を雇用し、貴重な戦力として業務に従事して頂くとともに、競技活動に対する支援を行っております。

東京パラリンピックの結果



中村 智太郎（パラ水泳）

混合200mリレー (運動機能障害)	予選9位
男子100m平泳ぎ (運動機能障害SB6)	8位入賞



櫻井 杏理（車いすフェンシング）

女子エペ個人 (障害B)	6位入賞
女子フルーレ個人 (障害B)	11位



TV番組「知られざるガリバー」で当社が紹介されました

当社の熱交換器、食品殺菌装置が紹介

2021年9月、テレビ東京系列「知られざるガリバー ～エクセレントカンパニーファイル～」において、当社が紹介されました。

同番組は、世界に誇る優れた日本企業にスポットを当て、その魅力に鋭く迫るドキュメンタリー番組です。

放送は既に終わっておりますが、テレビ東京ビジネスオンデマンド（有料）でも視聴が可能ですのでぜひご覧ください。

(参考)

単位：百万円

区分	年度	第91期中間期 (2019年9月期)	第92期中間期 (2020年9月期)	第93期中間期 (2021年9月期)	第91期通期 (2020年3月期)	第92期通期 (2021年3月期)	第93期通期予想 (2022年3月期)
受注高	高	16,001	14,254	17,307	31,952	28,165	31,500
売上高	高	16,222	13,888	13,961	32,511	28,437	31,000
営業利益	益	1,106	866	701	2,274	1,409	1,700
経常利益	益	1,279	1,050	937	2,573	1,765	1,900
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		1,137	686	689	2,080	1,212	1,320
1株当たり四半期(当期)純利益(円)		39.78	24.44	24.54	73.39	43.14	46.97
総資産	産	61,565	62,009	66,168	60,566	65,200	—
純資産	産	50,760	52,159	53,897	50,831	53,335	—
1株当たり純資産(円)		1,801.67	1,851.58	1,910.58	1,804.13	1,893.12	—
年間1株当たり配当額(円)		—	—	—	20.00	30.00	30.00
配当性向(%)		—	—	—	27.3	69.5	63.9
純資産配当率・D O E (%)		—	—	—	1.1	1.6	1.6

会社概要 (2021年9月30日現在)

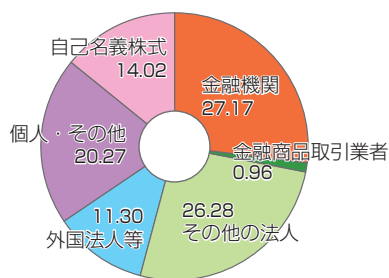
CORPORATE PROFILE

社名	株式会社日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.	役員	代表取締役社長 社長執行役員 竹下 好和 取締役 常務執行役員 太田 光治 取締役 常務執行役員 飯塚 正志 取締役 常務執行役員 船越 俊之 社外取締役 水元 公二 社外取締役 角野 佑子 取締役 常勤監査等委員 中道 貢 社外取締役 監査等委員 仲井 晃 社外取締役 監査等委員 藤田 典之
創業	1942年5月		
資本金	41億5千万円		
従業員数	連結925名 単体646名		
本社所在地	大阪市北区曽根崎二丁目12番7号		
支店・工場	東京支店(東京都中央区) 名古屋支店(愛知県名古屋市) 九州支店(福岡県福岡市) 北九州支店(福岡県北九州市) 鴻池事業所(大阪府東大阪市) 青梅事業所(東京都青梅市)		
主要な子会社	マイクロゼロ株式会社(東京都立川市) 旭工業株式会社(東京都青梅市) 小松川化工機株式会社(東京都千代田区) HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. (マレーシア) 日阪(中国)機械科技有限公司(中国)		

株式状況 (2021年9月30日現在)

STOCK INFO.

発行可能株式総数	129,020,000株
発行済株式総数	32,732,800株
株主数	3,820名
所有者別持株比率(%)	



大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,990,400株	10.62%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,247,300株	7.98%
日鉄ステンレス株式会社	1,400,000株	4.97%
日本生命保険相互会社	960,770株	3.41%
株式会社三菱UFJ銀行	912,640株	3.24%
因幡電機産業株式会社	910,802株	3.23%
株式会社タクマ	642,000株	2.28%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	627,989株	2.23%
株式会社みずほ銀行	612,640株	2.17%
日阪製作所協力業者持株会	595,486株	2.11%

(注) 自己株式(4,590,567株)は除外しております。

株主メモ

SHAREHOLDERS MEMO

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告 公告掲載URL https://www.hisaka.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。